

新高通信



第75号

秋田県立新屋高等学校

変化に応じる柔らかい心

教頭 湯澤 寛



空の色と風の音に伝わる寒さ、そして、登校する生徒諸君の姿に冬の到来を感じるようになりました。長引く感染拡大状況に惑わされながらの学校生活も早いもので師走になりました。これまでを振り返ると中央地区大会・全県総体は2年ぶりに開催されました。昨年は大会が開催されず、先輩方と共に悔しい思いをしましたが、今年は昨年の思いを存分に発揮した大会となりました。野球部の甲子園予選では全校生徒が気持ちをひとつにして応援し、選手の頑張りに感動しました。部活動ができる喜びを改めて考えさせられた時間となったことでしょうか。新高祭は縮小開催となり、校内での発表となったものの、生徒会や文化部の尽力により、全校生徒と先生方が楽しい時間を過ごすことができました。また、2年生の修学旅行は中止になりましたが、代替として各クラスの計画に基づいた県内研修を行い、充実した思い出深い活動となりました。

さて、これからの生活はどうなるのでしょうか。明日が自分にとってどのような日になるのかと先を見据えることや明日の生き方を考えることはできるでしょう。しかし、いくら準備しても、現実には予想しなかったことが起きる場合もあります。結局、その日の瞬間・瞬間を安定した精神状態を保ちながら生きていくことが要求されます。毎日の活動、人間関係等のうまくいったことや思いどおりにいかなかったこと、成功や失敗の繰り返しにより、瞬間に対応するための考えや判断する力が身に付くと考えます。

明日から、そして来年は、これまでより物事の変化に応じることができるように、柔らかい心をもって生きていきたいと願うばかりです。

ももさだ講演会

総務主任 高橋 健

2年生県内研修

2年部主任 佐々木 渉

したいこと、と
しなきゃいけないことの両立

新屋高校27期生 伊藤和憲

11月4日(木)の6校時に「令和3年度ももさだ講演会」を開催しました。昨年度はコロナの影響で講演会が中止となったため2年ぶりの開催であり、今年度はコロナの影響により「各クラスへのビデオメッセージのリモート配信」という形での開催となりました。

講師には、シンガーソングライター「そーはく」としても活躍されている第27期卒業生の伊藤和憲さんをお願いをしました。伊藤さんの高校時代のエピソードや、演題の「したいこと、と しなきゃいけないことの両立」に沿った「音楽活動と会社での仕事との両立」についての話を、全校の生徒が各教室において興味深く拝聴していました。



今できること(ポイトレや楽曲分析など)に取り組んでいます

11月9日(火)から12日(金)までの4日間、修学旅行の代替となる研修を実施しました。学級討議で研修の目的や訪問先を考え、第1日は班別研修計画の確認や研修レポート作成準備、第2日と第3日はクラスごとに日帰りでの研修旅行、第4日は振り返りと研修レポートの作成を実施しました。

訪問先は、A組が男鹿方面、角館班別研修と田沢湖周辺・乳頭温泉、B組が抱き返り溪谷・田沢湖周辺と角館班別研修、鳥海・仁賀保方面、C組が秋田市と男鹿方面、乳頭温泉・田沢湖周辺と角館班別研修、D組が角館班別研修と田沢湖周辺、男鹿方面、E組が田沢湖周辺と角館班別研修、男鹿方面でした。

秋田県を象徴する訪問先が多く、かつて訪れたことがある場所だったかもしれません。しかし、クラスの仲間と一緒に見た風景は、前に見た時とは違う見え方がしたのではないのでしょうか。この4日間の研修は修学旅行の代替という位置づけでしたが、生徒にとっては修学旅行そのものであり、友人との絆を深め、様々な文化に触れたり体験したりする、という目的を達成できたと考えています。

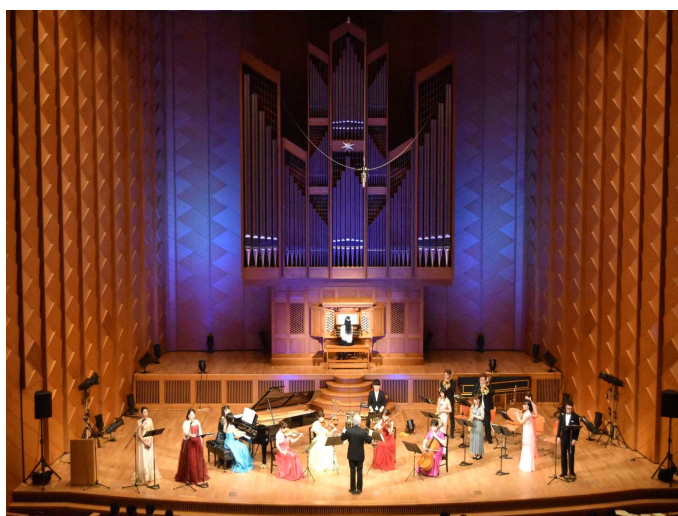


芸術鑑賞会 (11/18)

特別活動部 阿部 大輔

今年度の芸術鑑賞会は、学校ではなく、アトリオン音楽ホールに移動して開催しました。企画段階では新型コロナウイルス感染状況などの不安もありましたが、秋田アトリオン事業部様の全面的なご配慮とご協力の下、無事開催することができました。

前半は楽器の紹介を行いながら、クラシックや歌劇の鑑賞を、後半は指揮者体験や本校校歌の演奏など、音楽の素晴らしさを味わうことのできた感激の1時間半となりました。生徒の感想には、「素晴らしい演奏で幸せな時間でした」「アトリオンだからこそ聴ける楽器や演奏で、貴重な体験になりました」「音楽には人を元気にする力があることを再認識しました」などとあり、大満足の様子でした！



学校保健委員会報告

保健教育相談部主任 早坂 薫

11月26日、本校会議室で学校保健委員会が開催されました。学校保健委員会は定期健康診断結果や保健室利用状況、学校環境衛生検査結果等、について学校医や学校薬剤師の先生方から助言していただき、生徒の皆さんの健やかな学校生活の推進のため開かれています。

内科の木村先生からは、保健室来室理由で一番多い頭痛について、水分不足の可能性を指摘されました。冬は乾燥しやすく、喉が乾いていなくてもこまめな水分補給が必要とのことでした。歯科の佐々木先生からは、3年生に未処置者が多く、忙しくなると歯肉炎も増えるという観点から、4月からの新しい生活が始まる前に治療することを助言していただきました。学校薬剤師の田所先生からは、飲料水水質検査、照度検査共に問題なしとの報告をいただきました。なお二酸化炭素濃度についての検査は2月に行われます。二酸化炭素が多いと頭痛やだるさといった症状が起きます。寒くなりますが休み時間の換気をしっかり行ってほしいと思います。

P T A 研修

「そば打ち体験」

総務主任 高橋 健



11月27日(土)本校調理室において、学校後援会前会長の武藤真作さんを講師に迎え、P T A 研修「そば打ち体験」を開催しました。本校P T Aの恒例となっている本研修ですが、昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響のため、残念ながら開催を中止せざるをえませんでした。今年度は参加人数を制限し(今回の参加者は12名でした)、参加者の方には検温・消毒の徹底をお願いした上での開催となりました。

研修では、そば粉からの生地づくりに始まり、生地を伸ばして畳んだものを専用の道具で切ってそばを作りました。参加された皆さんは、ほとんどの方が初めてで苦勞された場面もありましたが、講師の武藤さんの指導のもと、上手にそばを作ることができました。研修の最後に、作ったそばを茹でて氷水で締めていただきましたが、打ち立てのそばの味は格別でした。

まだコロナ禍が続く状況のもと、今回講師を務めてくださった武藤さんと、参加くださいましたP T A 会員の皆様には改めて感謝申し上げます。

進路決定の概要

進路指導主事 石塚 道康

12月上旬現在、3年生のちょうど7割の生徒が進路を確定しています。例年よりも早い進捗状況ですが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響も有り、進路決定を先延ばしにしない傾向や地元志向が色濃く出た結果になっています。特に、就職は志望した全ての生徒が内定を頂き、公務員の合格者数も昨年より増加しました。公務員が不合格でもその後の就職受験で内定を頂いた場合も有り、今年度は公務員の浪人を出さずに済みました。今年は、国公立大学に関して総合型・学校推薦型Iなど昨年度よりも受験者数が更に減少しましたし、結果も厳しいものになっています。今後の一般受験に期待します。

また、共通テスト出願者は56名で、第3回定期考査後から特別時間割を組んで対策を進めています。受験は団体戦と言われます。今後もこれまでと同様に、進路が決定した生徒もこれから決定を目指す生徒も皆で協力し合って、3年生全員の進路目標達成を目指しましょう。

進路志望・決定状況

12月7日現在

進路状況	合計	国大	私大	短大	専門学校	民間	公務員	未定
志望数	170	22	41	23	58	17	7	2
決定数	119	4	24	20	47	17	7	0
昨年同期	(115/164)	(5/25)	(32/49)	(22/23)	(39/48)	(11/11)	(5/8)	(0/0)